

繼續シテ療養ノ給付及傷病手當金ノ支給ヲ爲スモノ
トス但シ其ノ給付ヲ始メタル日前一年以内ニ於テ實
期間三月以上被保險者タリシ者ニ限ル

第二十七條中「第二十八條第二項」ヲ「第二十八條第三
項」ニ改ム

第二十九條中「掲グル者」ノ下ニ「ニシテ病院又ハ診療
所ニ收容セラレタルモノ」ヲ加フ

第三十一條中「内地」ヲ「内地（樺太ヲ含マズ）」ニ、「第
十八條第二項、第十九條、第二十條、第二十三條及第
二十四條中地方長官トアルハ」ヲ「船員保險法第二十八
條第二項及第二十八條ノ三ノ行政官廳ハ厚生大臣トシ
第二十三條第一號及第二十四條中地方長官トアリ竝ニ
第二十三條第二號及第三號中厚生大臣若ハ地方長官ト
アルハ」ニ改ム

第三十三條ノ二 船員保險法第二十八條第三項ニ規定
スル者以外ノ被保險者ニ關スル保險料ニ付テハ船
舶所有者ノ負擔割合ハ其ノ保險料額ノ五分ノ三ト
ス

第三十六條第二項及第三項ヲ左ノ如ク改ム

地方長官ハ保險料納入ノ告知ヲ爲シタル後ニ於テ告
知シタル保險料額ガ當該納付義務者ノ納付スベキ保
險料額ヲ超過スルコトヲ知りタルトキ又ハ納付シタ
ル保險料額ガ當該納付義務者ノ納付スベキ保險料額
ヲ超過スルコトヲ知りタルトキハ其ノ超過部分ニ關
スル納入ノ告知又ハ納付ハ其ノ告知又ハ納付ヲ爲シ
タル後六月以内ノ期日ニ於テ納付セラルベキ保險料
ニ對シ納期ヲ繰上テ之ヲ爲シタルモノト看做スコト

ヲ得

前項ノ規定ニ依リ納期ヲ繰上テ納入ノ告知又ハ納付
ヲ爲シタルモノト看做シタルトキハ地方長官ハ其ノ
旨ヲ當該納付義務者ニ通知スベシ

第六十條中「第一章乃至第四章」ヲ「第二章、第二
第三章、（日本醫師會會長、日本齒科醫師會會長、日本藥
劑師會會長、道府縣醫師會會長、道府縣齒科醫師會會長又ハ
道府縣藥劑師會會長ニ關スル部分ヲ除ク）、第四章」ニ改
ム

第八十一條中「又ハ船員法第十七條若ハ第二十九條ノ
規定ニ依ル船舶所有者ノ扶助」ヲ削除

第八十三條 削除

附則
本令ハ昭和十八年四月一日ヨリ之ヲ施行ス但シ昭和十
八年法律第二十七號中第二十八條ノ三乃至第二十八條
ノ六ノ規定實施ノ爲ニ豫メ必要ナル範圍内ニ於テハ同
年三月三十一日ヨリ之ヲ施行ス

第二十一條、第六十一條及第八十三條ノ改正規定竝ニ
第三十三條ノ二及附則第三項ノ規定ハ前項ノ規定ニ拘
ラズ昭和十八年法律第二十七號中第三十二條第一項及
第三十三條ノ改正規定竝ニ第六十條第二項及附則第三
項ノ規定施行ノ日ヨリ之ヲ施行ス

昭和十八年法律第二十七號附則第三項ノ場合ニ於テハ
第二十一條、第八十一條及第八十三條ノ改正規定ニ拘
ラズ仍從前ノ例ニ依ル

第十七條ノ二ノ規定ハ第一項ノ規定ニ拘ラズ昭和十六
年十二月八日ヨリ之ヲ適用ス

船員保險法中改正法律の一部施行期 日の件公布

日

船員保險法中改正法律の一部施行期日の件は昭和十
八年三月三十日付官報を以て左の如く公布せられた。

船員保險法中改正法律の一部施行

期日ノ件（昭和十八年三月二十九日
勅令第二百三十四號）

昭和十八年法律第二十七號ハ第三十二條第一項及第三
十三條ノ改正規定竝ニ第六十條第二項及附則第三項ノ
規定ヲ除ク外昭和十八年四月一日ヨリ之ヲ施行ス但
シ第二十八條ノ三乃至第二十八條ノ六ノ規定實施ノ爲
ニ豫メ必要ナル範圍内ニ於テハ同年三月三十一日ヨリ
之ヲ施行ス

國民健康保險法施行規則中改正の件 公布

公布

國民健康保險法施行規則中改正の件は昭和十八年三
月二十三日付官報を以て左の通り公布せられた。

國民健康保險法施行規則中改正の件

（昭和十八年三月二十三日
厚生省令第六號）

第五條 削除

第八條中「組合設立ノ經過」ヲ「組合設立ノ經過及」ニ
改メ「及被保險者ニ對シ診療又ハ藥劑ノ支給ヲ爲ス醫
師、齒科醫師又ハ藥劑師ノ範圍」ヲ削ル

第九條ノ二中「第五條」並ニ第九條ノ三中「第五條」及「及第五條」ヲ削ル

第十一條 地方長官ハ組合ノ成立アリタルトキハ其ノ組合ノ被保險者ニ對シ診療又ハ藥劑ノ支給ヲ爲ス保險醫及保險藥劑師ノ範圍ヲ定メテ之ヲ告示スベシ其ノ變更アリタルトキ亦同ジ

第十二條 前條ノ告示アリタルトキハ組合ノ被保險者ニ對シ診療又ハ藥劑ノ支給ヲ爲ス保險醫及保險藥劑師ヲ公示スベシ

組合ハ保險醫又ハ保險藥劑師以外ノ者ニシテ其ノ組合ノ被保險者ニ對シ診療又ハ藥劑ノ支給ヲ爲スモノヲ指定シタルトキハ之ヲ公示スベシ其ノ變更アリタルトキ亦同ジ

前項ノ規定ハ診療又ハ藥劑ノ支給以外ノ給付ノ支給ニ當ル者ニ付之ヲ准用ス

第十三條 組合ハ様式第一號ニ依ル受診證ヲ被保險者ニ交付スベシ

第十三條ノ二 被保險者ハ療養ノ給付ヲ受ケントスルトキハ保險醫又ハ組合ノ指定シタル者ニ受診證ヲ提示スベシ但シ已ムヲ得ザル事由アルトキハ其ノ事由止ミタル後遲滞ナク之ヲ提示スベシ

第十三條ノ三 保險醫及保險藥劑師ガ診療又ハ藥劑ノ支給ヲ爲スニ付必要ナル事項ハ別ニ之ヲ定ム

第十三條ノ四 保險醫ハ被保險者ヨリ受診證ノ提示ヲ受ケ診療ヲ爲シタルトキハ受診證ニ必要ナル事項ヲ記載シ遲滞ナク之ヲ被保險者ニ返還スベシ第十三條ノ二但書ノ規定ニ依リ提示アリタルトキ亦同ジ

第十三條ノ五 保險醫ハ被保險者ヨリ處方箋ノ交付ヲ求メラレタルトキハ正當ノ事由アルニ非ザレバ之ヲ拒ムコトヲ得ズ

被保險者ニ對シ處方箋ヲ交付スル場合ニ於テハ保險醫ハ様式第二號ニ依リ之ヲ作製スベシ

第十三條ノ六 被保險者ハ保險藥劑師ニ就キ藥劑ノ支給ヲ受ケントスルトキハ保險醫又ハ組合ノ指定シタル者ノ交付シタル處方箋ヲ提出スベシ

第十四條ノ二 厚生大臣及地方長官ハ組合ニ對シ左ニ掲グル施設ヲ爲スコトヲ命ジ又ハ之ニ必要ナル費用ノ支出ヲ命ズルコトヲ得

- 一 傳染病、寄生蟲病其ノ他傷病ノ預防ニ關スル施設
- 二 健康診斷ニ關スル施設
- 三 療養及保養ニ關スル施設
- 四 母性及乳幼児ノ保護ニ關スル施設
- 五 榮養改善ニ關スル施設
- 六 健康ノ保持ニ關スル施設

第十五條中「被保險者ニ對シ診療又ハ藥劑ノ支給ヲ爲ス醫師、齒科醫師又ハ藥劑師」ヲ「保險醫若ハ保險藥劑師又ハ組合ノ指定スル者」ニ改ム

第二十二條ノ二 組合員ハ議員候補者ヲ推薦セントスルトキハ選舉ノ期日ノ公示アリタル日ヨリ選舉ノ期日前三日目迄ニ其ノ旨ヲ選舉長ニ届出ヅベシ

前項ノ規定ニ依ル届出ハ組合員十人以上ヨリ之ヲ爲スコトヲ要ス届出ノ取消ニ付亦同ジ

第二十二條ノ三 前條第一項ノ期間内ニ届出アリタル議員候補者其ノ選舉ニ於ケル議員ノ定數ヲ超ユル場合ニ於テ其ノ期間ヲ經過シタル後議員候補者死亡シ又ハ議員候補者ノ推薦届出ノ取消アリタルトキハ前條ノ例ニ依リ選舉ノ期日ノ前日迄ニ推薦届出ヲ爲スコトヲ得

前條ノ届出若ハ届出ノ取消アリタルトキ又ハ議員候補者ノ死亡シタルコトヲ知りタルトキハ理事ハ直ニ其ノ旨ヲ公示スベシ

第二十四條 議員ノ選舉ハ投票ニ依リ之ヲ行フヲ例トス

投票ハ無記名トシ一人一票ニ限ル

第二十四條ノ二 第二十二條ノ二及第二十二條ノ三ノ規定ニ依ル届出アリタル議員候補者其ノ選舉ニ於ケル議員ノ定數(選舉區ヲ設ケタル場合ニ在リテハ各選舉區ヨリ選舉スベキ議員ノ定數)ヲ超エザルトキハ投票ハ之ヲ行ハズ

前項ノ規定ニ依リ投票ヲ行フコトヲ要セザルトキハ理事ハ直ニ其ノ旨ヲ公示スベシ

第一項ノ場合ニ於テハ選舉長ハ選舉ノ期日ヨリ三日以内ニ選舉會ヲ開キ議員候補者ヲ以テ當籤者ト定ムベシ

第六十一條第四項ヲ削ル

第六十三條第四項ヲ削ル

第八十一條ノ二中「別記様式」ヲ「様式第三號」ニ改ム
第八十六條中「第十條」ノ下ニ「第十四條ノ二」ヲ加フ
第九十八條中「第十一條乃至第十六條」ヲ「第十一條乃至第十三條ノ二、第十三條ノ六、第十四條乃至第十六條」ニ改メ同條中「第五條」及「第五條」ヲ削ル

附則

本令ハ昭和十八年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

(面 表)

| | | | | | |
|-------------|---------|----------------------|--------|-------------|--|
| 受 診 證 | 第 號 | 氏被 名保 住險 所者 | | 氏 名 | <p>一、この證は醫師や醫科醫師やその他に受診する 二、受診するときはこの證を醫師や齒科醫師や 三、同一組合に見せなければなりませぬ 四、傷病にかかるといふは、お聞き下されば、受診出来 五、この組合に返して下さい</p> <p>(折疊)</p> <p>昭和 年 月 日交付</p> |
| | 資格取得年月日 | 生 年 月 | 住 所 | 年 月 日 | |

昭和 年 月 日

國民健康保險組合又ハ
國民健康保險組合ノ事
業ヲ行フ法人ノ名稱
印

(面 裏)

| 給 付 記 録 | | | | | | |
|---------|-------|-----|-------|---------|-----|-----|
| 傷 病 名 | 開 始 日 | 認 印 | 終 了 日 | 終 了 事 由 | 認 印 | 備 考 |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |

(注意) 本組合の療養の給付支給期間は同一の傷病及之に因り發したる疾病に付ケ月迄とす

樣式第二號

備考

- 一 本票ノ用紙ノ大サハ日本標準規格B6トシ中央點綴ノ所ヨリニツ折ト捺スベシ
- 二 「給付記録」欄ノ記載ニ付テハ左ニ依ルベシ
 - イ 「開始日」欄ニハ最初ニ診療ニ當リタル保險醫ニ於テ記入シテ「認印」欄ニ捺印シ「終了日」欄及「終了事由」欄ニハ最後ニ診療ニ當リタル保險醫ニ於テ記入シテ「認印」欄ニ捺印スベシ
 - ロ 「終了事由」欄ニハ治療期間満了、死亡等ノ別ヲ記載スベシ

- ハ 「傷病名」ヲ變更シタルトキハ其ノ保險醫ニ於テ其ノ傷病名及變更年月日ヲ「備考」欄ニ記入シ捺印スベシ
- ニ 療養費支給ノ場合ハ當該國民健康保險組合又ハ國民健康保險組合ノ事業ヲ行フ法人ニ於テ必要事項ヲ朱記シ「備考」欄ニ療養費ト附記スベシ
- 三 療養費ノ給付支給期間ニ限度ヲ設ケザル國民健康保險組合又ハ國民健康保險組合ノ事業ヲ行フ法人ニ在リテハ本様式ノ「裏面」ノ事項ヲ省キ「表面」ノ「注意事項」ヲ裏面ト爲スベシ

〔參照〕

昭和十三年六月二日厚生省令第十號國民健康保險法施行規則抄錄

第五條 組合設立ノ際ニ於テ定ムベキ組合ノ被保險者ニ對シ診療又ハ藥劑ノ支給ヲ爲ス醫師、齒科醫師又ハ藥劑師ノ範圍ハ發起人之ヲ定メ組合設立ノ認可申請ト同時ニ認可申請ヲ爲スベシ

第八條 組合設立ノ認可アリタルトキハ發起人ハ遲滞ナク組合會ヲ召集シ組合設立ノ經過、初年度ノ收入支出ノ豫算及被保險者ニ對シ診療又ハ藥劑ノ支給ヲ爲ス醫師、齒科醫師又ハ藥劑師ノ範圍其ノ他重要ナル事項ヲ報告スベシ

第十一條 國民健康保險法第四十六條ノ規定ニ依ル醫師、齒科醫師又ハ藥劑師ノ範圍ニハ被保險者ノ通常利用シ得ベキ醫師、齒科醫師又ハ藥劑師ヲ包含スルコトヲ要ス

第十二條 組合ハ特別ノ事由ナキ限り國民健康保險法第四十六條ノ規定ニ依リ認可ヲ受ケタル範圍内ノ總テノ醫師、齒科醫師又ハ藥劑師ヲシテ被保險者ニ對スル診療又ハ藥劑ノ支給ニ當ラシメ且被保險者ヲシテ醫師、齒科醫師又ハ藥劑師ノ選定ヲ自由ナラシムベシ

第十三條 組合被保險者ニ對シ診療又ハ藥劑ノ支給ヲ爲ス醫師、齒科醫師又ハ藥劑師ヲ定メタルトキ

處方箋

| | | | | |
|----------------|--|--|-------|----------|
| 患者 (氏名) | (年齢) | 保險健康ヲ 健康事業稱 國民事名 健國ノノ 民ハ合人 國又組法 屬合險フ 所組保行 | 分量 | |
| | | | 藥名 | |
| 用法 | | | 用量 | |
| 使用期間 | 開始了 昭和 昭和 | 年月日 | 處方年月日 | 昭和 年 月 日 |
| 醫師 姓名 保氏 | 診療所所在地 診所、ハ住 所、ハ保 險、ハ醫 師ノ在 | | | |

國民健康保險用

ハ之ヲ公示スベシ其ノ變更アリタルトキ亦同ジ
前項ノ規定ハ診療又ハ藥劑ノ支給以外ノ給付ノ支
給ニ當ル者ニ付之ヲ準用ス

第十五條 組合ハ被保險者ニ對シ診療又ハ藥劑ノ支
給ヲ爲ス醫師、齒科醫師又ハ藥劑師ニ就キ療養ノ
給付ニ關シ帳簿書類ヲ閲覧シ、説明ヲ求メ又ハ報
告ヲ徴スルコトヲ得

第二十四條 議員ノ選舉ハ無記名投票ニ依リ之ヲ行
フ
投票ハ一人一票ニ限ル

第六十一條第四項

合併ニ因リテ成立スル組合ノ被保險者ニ對シ診療
又ハ藥劑ノ支給ヲ爲ス醫師、齒科醫師又ハ藥劑師
ノ範圍ハ各組合ニ於テ選任シタル者共同シテ之ヲ
定メ合併ノ認可申請ト同時ニ認可申請ヲ爲スベシ

第六十三條第四項

分割ニ因リテ成立スル組合ノ被保險者ニ對シ診療
又ハ藥劑ノ支給ヲ爲ス醫師、齒科醫師又ハ藥劑師
ノ範圍ハ其ノ組合ノ組合員タルベキ者ニ於テ選出
シタル者之ヲ定メ分割ノ認可申請ト同時ニ認可申
請ヲ爲スベシ

國民健康保險法施行規則第十三條之三
の保險醫が診療を爲すに付必要なる事
項の告示

國民健康保險法施行規則第十三條之三の保險醫が診
療を爲すに付必要なる事項は昭和十八年三月二十三日
付官報を以て告示され、昭和十八年四月一日より施行
せらるゝこととなつた。

國民健康保險法施行規則第十三條
ノ三ノ保險醫が診療ヲ爲スニ付必
要ナル事項（昭和十八年三月二十三日）
（勅令第百一十一號）

第一 保險醫ハ國民健康保險法及國民健康保險組合
ノ規約（國民健康保險組合ノ事業ヲ行フ法人ニ在リ
テハ國民健康保險規程）ニ依ルノ外健康保險保險
醫療養擔當規程第三章診療方針（第六條一診察中
イヲ除ク）又ハ健康保險保險齒科醫療養擔當規程
第三章診療方針（第六條五補綴中イ及同條七ヲ除
ク）ニ依リ被保險者ノ疾病又ハ負傷ニ付診療ヲ爲ス
ベシ

第二 國民健康保險ノ診療ニ關シ醫師タル保險醫ハ日
本醫師會及道府縣醫師會、齒科醫タル保險醫ハ日本
齒科醫師會及道府縣齒科醫師會ノ指導ヲ受クベシ

大學學部等の在學年限又は修業年限の
臨時短縮に關する件中改正の件公布

昭和十六年勅令第九百二十四號大學學部等の在學年
限又は修業年限の臨時短縮に關する件中改正の件は昭
和十八年三月八日付官報を以て左の如く公布せられ
た。

昭和十六年勅令第九百二十四號大
學學部等ノ在學年限又ハ修業年限
ノ臨時短縮ニ關スル件中改正ノ件

（昭和十八年三月六日）
（勅令第百一十一號）

昭和十六年勅令第九百二十四號中左ノ道改正ス

第一條第一項中「第十三條第一項若ハ第十六條、高等
學校令第七條第一項、專門學校令第六條若ハ第八條第
二項又ハ實業學校令第二條ノ二第二項」ヲ「若ハ第十六
條、師範教育令第十四條又ハ專門學校令第六條若ハ第
八條第三項」ニ、「大學豫科、高等學校高等科、專門學
校若ハ實業專門學校」ヲ「高等師範學校、女子高等師範
學校若ハ專門學校」ニ改メ「當分ノ内」ヲ削ル
同條第二項ヲ削ル

同條第三項中「前二項中大學令、高等學校令、專門學校
令又ハ實業學校令」ヲ「前項申大學令又ハ專門學校令」
ニ改ム
附則ニ左ノ一項ヲ加フ

本令ハ大學學部ノ在學年限ニ關シテハ昭和十七年四
月以前ニ入學シ引續キ在學スル學生ニ付、高等師範
學校、女子高等師範學校又ハ專門學校ノ修業年限ニ
關シテハ昭和二十一年四月以前ニ入學シ引續キ在學
スル生徒ニ付之ヲ適用ス

附則

本令ハ昭和十八年四月一日ヨリ之ヲ施行ス
本令施行ノ際現ニ大學豫科又ハ高等學校高等科ニ在學
スル生徒ニ付テハ其ノ修業年限ノ短縮ハ第一條ノ改正
規定ニ拘ラズ仍從前ノ例ニ依ル

〔參照〕

昭和十六年十月十六日勅令第九百二十四號抄錄
第一條 大學令第十條、第十一條、第十三條第一項
若ハ第十六條、高等學校令第七條第一項、專門學
校令第六條若ハ第八條第二項又ハ實業學校令第二
條ノ二第二項ノ規定ニ依ル大學學部ノ在學年限又
ハ大學豫科、高等學校高等科、專門學校若ハ實業